

趣意書

2020 年にはじまった新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、私たちのくらしは多大な影響を受けました。

経済への打撃、社会活動の制限。先の見通せない不安が、より弱い立場にある人たちに大きな苦難をもらしたのです。

困っている方々を気遣うコープこうべ組合員は、募金やフードドライブ活動に励みました。そして、格差の拡大が若い人の可能性を奪いかねないと知った組合員から、さらなる取り組みを求める声があがるようになりました。

コープこうべは、1921 年の創立以来、助け合いの力でくらしの向上に取り組んできた生協です。くしくもコロナ禍のなか迎えることになった創立100周年を機に、高等学校等に通う生徒の修学継続をサポートするため、むこう 10 年間を目標に奨学金給付を開始することにしました。

また同時に、地域で行われているボランティアな活動へのコーディネートや活躍の場づくりを通じて、若い人自身が生きる力を育む応援をしていきたいと考えています。

この一般財団法人は、これらのことを持続的、安定的に実現していくために設立します。

コープこうべから2億円の拠出を受けてその財産としますが、趣旨に賛同いただける方々から寄付を募り、経済的基盤の安定に努めます。

2030 年に向けてコープこうべが掲げるビジョン「コープのあるまち 協同のあるくらし」の実現に向け、着実に歩をすすめてまいります。